

成果の説明書

(氏名) 安田 慎	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
研究・書籍	
・ Yasuda, S. 2023. Development of Tourism Governance for Religious Tourism: A New Form of Local Community in Najaf, Iraq. In R. N. Prozano, J. M. Cheer & X/ M. Santos (Eds.) <i>Host Communities and Pilgrimage Tourism: Asia and Beyond</i>, Singapore: Springer Nature Singapore, pp. 35-47. ・ 安田慎. 2023. 「トラベル・ライティングが生み出す観光的想像力：ウィルフレッド・セシガーが描き出す観光的リアリティのコネクティビティ」 須藤廣・遠藤英樹・山口誠・松本健太郎・神田孝治・高岡文章編『観光が世界をつくる』明石書店、pp. 235-251. ・ 安田慎. 2023. 「由自拍所产生的景观：麦加朝圣的宗教景观争论与共同的行为表现」 河合洋尚編『景观人类学：身体・政治・物質』王慧訳、郭謙校正、華南理工大学出版社、pp. 89-100. ・ 安田慎. 2023. 「ホスピタリティ：イスラームの歓待精神がもたらすモビリティ」 神田孝治・遠藤英樹編。『移動時代のツーリズム：動きゆく観光学』ナカニシヤ出版、pp. 90-97. ・ 高崎経済大学地域政策学部観光政策学科編. 2024. 『大学の群馬ガイド こだわりの歩き方』昭和堂（編集主幹、他分担執筆 3 章、コラム 4 分）。	
研究・学術論文	
・ Yasuda, S. 2023. Mapping Pilgrimage in the Marketplace: Social Contexts of Bisnis Hajj dan Umroh in Indonesia. <i>International Journal of Religious Tourism and Pilgrimage</i> 11(5): 5-16. (筆頭著者・査読有) ・ 安田慎. 2024. 「ヴァナキュラー・ツーリズムからみる南アジア：宗教・聖地・観光」『イスラーム世界研究』17、pp. 126-133. (筆頭著者・査読有) ・ 安田慎. 2024. 「モルディブにおける国内観光：グローバルなツーリズムにおけるヴァナキュラーなリゾート文化」『イスラーム世界研究』17、pp. 145-160. (筆頭著者・査読有)	
研究・学会／研究会発表	
・ Yasuda, S. 2023. Rethinking Halal Tourism in Pious Neoliberalism: Islamic Economy and Moral Accountability in Muslim Societies. Accountability in Islamic Economy: Transforming Religiosity and Religious Experiences in Muslim Societies. EHESS, Paris. 10th November 2023.	
その他	
・ 安田慎. 2023. 「オーバーツーリズム時代の観光サステナビリティ（シニアマイスター経営の知恵 181）」『観光経済新聞』2023 年 8 月 26 日号. ・ 石橋正孝・小林実・羽生敦子・原一樹・舩谷鋭・安田慎. 2024. 「観光文学のコンタクトゾーン：文学散歩・聖地巡礼・テキスト分析」立教大学観光学部編。『RT』3、pp. 4-17. ・ 科研代表者として、国際ワークショップを主催として 2 つ（フランス、東京）、共催として 1 つ（千葉）開催した。 ・ 主催国際ワークショップ：Accountability in Islamic Economy: Transforming Religiosity and Religious Experiences in Muslim Societies (FFJ-EHESS との共催) 2023 年 11 月 10 日、EHESS コンドルセ・キャンパス.	

・主催国際ワークショップ：Muslim Piety as Economy: Markets and Mobilities（上智大学イスラーム地域研究所、科研 22H03846 との共催）2024 年 1 月 19 日、上智大学四谷キャンパス ・共催国際ワークショップ：Changes in Halal Standards and Islamic Jurisprudence: Diversity of Halal Standards and Practices（科研 22H03846 との共催）2024 年 1 月 21 日、JETRO アジア経済研究所 ・共催研究会（現代環インド洋イスラーム・フィールド研究会）を 9 月に香川大学で開催した。また、科研研究会を 2 回開催した（4 月、10 月）。 ・査読論文（国際誌 1 本、国内誌 4 本）を担当した。 ・日本地域政策学会年次大会（7 月）、日本観光研究学会（12 月）の座長を務めた。また、観光学術学会のパネル・セッションのコメンテーターを務めた（7 月）。 教育： ・担当科目（学部：基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ、大学院：観光政策特論、観光政策特論演習）を担当した。卒業論文 4 期生 12 名、修士論文 1 期生 1 名が論文を提出した。 ・ゼミ生 12 名（4 年）が、7 月の観光学術学会において学部学生ポスター・セッションでポスター発表を行った。また、ゼミ生 4 年 3 名が地域政策学会・学生懸賞論文に応募し、うち 2 名が症例論文賞を受賞した。 ・ゼミ有志（2 年）で、シンガポールでのフィールド調査を行った（2 月）。 ・横浜市立大学有馬貴之ゼミと、合同ゼミを高崎（7 月）と横浜（1 月）で実施し、ゼミ生（4 年生）が卒業論文の中間報告と最終報告を行った。 社会貢献活動： ・ラジオ高崎のラジオゼミナールに出演した（9 月 22 日、29 日）。 ・地域科学研究所・公開講演会「現代社会への多元的アプローチ」で、「COVID-19 以後の観光政策」の公演を行った（11 月 26 日）。	2 その他の事項 共同研究等：①科研費 基盤研究 (A)「イスラームおよびキリスト教の聖者・聖遺物崇敬の人類学的研究」研究分担者、②科研費 学術変革領域研究 (A)「イスラーム経済のモビリティと普遍性」研究分担者、③科研費 基盤研究 (B)「観光学 3.0 へ向けたツーリズム・モビリティの再考」研究分担者、④科研費 基盤研究(A)「イスラーム神秘主義の構造的理解：スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」研究協力者、⑤科研費 学術変革領域研究 (A)「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」研究協力者、⑥高崎経済大学地域科学研究所研究プロジェクト「現代の地域におけるリーダーシップのあり方の研究」プロジェクト・メンバー、⑦日本地域政策学会・観光プロジェクト分科会メンバー 委員等：①観光学術学会 評議員、将来構想具体化委員会、『観光学評論』編集委員、②Journal of Islamic Tourism Associate Editor、③International Journal of Religious Tourism and Pilgrimage Editorial Board、④Institute for Religious Tourism and Pilgrimage Science Committee、⑤日本地域政策学会『地域政策研究』編集委員、関東支部監査、⑥京都大学イスラーム地域研究センター『イスラーム世界研究』編集委員、⑦ぐんまダイバーシティネットワーク 機関代表者 3 次年度以降の計画・抱負 ・研究では、既に投稿・校正を行っている論文・書籍の発行を目指す。教育では、学会・他大学との連携を図りながら、ゼミ活動の充実を図り、大学院の研究室運営を充実させ、学部・外部からの進学者への教育体制を確立する。社会貢献活動では、『大学的群馬ガイド』に関連する社会貢献活動を中心に、関連イベントを充実させていく。
---	--